

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【公開番号】特開2016-49269(P2016-49269A)

【公開日】平成28年4月11日 (2016.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-022

【出願番号】特願2014-176252(P2014-176252)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月28日 (2017.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に関する情報を表示可能な表示領域を有する遊技情報表示手段と、
複数種類の図柄を表示する複数の回胴を有し、各回胴の回転停止時の図柄の組合せにより遊技結果を表示する遊技結果表示手段と、

所定条件の成立に応じて、通常遊技状態と比較して遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる遊技制御手段と、を備えた回胴式遊技機であって、

前記特別遊技状態の終了条件は、所定回数の遊技が行われる第 1 の終了条件と、該第 1 の終了条件とは異なる第 2 の終了条件とを含む 2 以上の終了条件で構成され、

前記遊技制御手段は、前記 2 以上の終了条件のうち何れか 1 つが成立しても、別の終了条件が成立するまで前記特別遊技状態を継続させることを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の回胴式遊技機において、

抽選により当選役を決定する抽選手段を備え、

前記遊技制御手段は、前記特別遊技状態で前記抽選手段が決定した当選役が特定の当選役であった場合に、前記第 1 の終了条件の前記所定回数を変更して、該特別遊技状態を延長させることを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の回胴式遊技機において、

抽選により当選役を決定する抽選手段を備え、

前記遊技制御手段は、前記特別遊技状態で前記抽選手段が決定した当選役が特定の当選役であった場合に、前記第 1 の終了条件と前記第 2 の終了条件の両方を変更して、該特別遊技状態を延長させることを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の回胴式遊技機において、

前記遊技情報表示手段に前記特別遊技状態における遊技の実行回数及び獲得した遊技価値量が表示され、1 回の遊技毎に更新されることを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第1発明は、遊技に関する情報を表示可能な表示領域を有する遊技情報表示手段と、複数種類の図柄を表示する複数の回胴を有し、各回胴の回転停止時の図柄の組合せにより遊技結果を表示する遊技結果表示手段と、所定条件の成立に応じて、通常遊技状態と比較して遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる遊技制御手段と、を備えた回胴式遊技機であって、前記特別遊技状態の終了条件は、所定回数の遊技が行われる第1の終了条件と、該第1の終了条件とは異なる第2の終了条件とを含む2以上の終了条件で構成され、前記遊技制御手段は、前記2以上の終了条件のうち何れか1つが成立しても、別の終了条件が成立するまで前記特別遊技状態を継続させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第2発明は、第1発明の回胴式遊技機において、抽選により当選役を決定する抽選手段を備え、前記遊技制御手段は、前記特別遊技状態で前記抽選手段が決定した当選役が特定の当選役であった場合に、前記第1の終了条件の前記所定回数を変更して、該特別遊技状態を延長させることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第3発明は、第1発明の回胴式遊技機において、抽選により当選役を決定する抽選手段を備え、前記遊技制御手段は、前記特別遊技状態で前記抽選手段が決定した当選役が特定の当選役であった場合に、前記第1の終了条件と前記第2の終了条件の両方を変更して、該特別遊技状態を延長させることを特徴とする。